

# 情報デザイン

いかがでしょうか？

# の授業

神奈川県 柴田 功



次期「高等学校学習指導要領」の共通教科情報科の必修科目「情報Ⅰ」において「コミュニケーションと情報デザイン」という単元が位置付けられています。「情報デザイン」の授業はどのような課題を設定し、どのような流れで、どのような作品を作成・評価したらよいのか、ここでは、情報デザインの授業づくりのアイデアを提案します。

授業の流れについての提案

## 情報デザインの授業の流れを情報デザインしてみたら・・・

「情報Ⅰ」の単元「コミュニケーションと情報デザイン」の学習指導要領解説を題材にして情報デザインしてみました。

**【目的】** コミュニケーションと情報デザイン  
メディアやコミュニケーション手段や情報デザインを題材とし、目的や状況に応じて受け手から受け手へ情報を伝える活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

**【学習活動】** コミュニケーションと情報デザイン  
(1) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(2) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(3) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(4) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(5) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(6) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(7) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(8) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(9) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(10) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。

**【目的】** コミュニケーションと情報デザイン  
メディアやコミュニケーション手段や情報デザインを題材とし、目的や状況に応じて受け手から受け手へ情報を伝える活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

**【学習活動】** コミュニケーションと情報デザイン  
(1) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(2) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(3) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(4) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(5) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(6) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(7) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(8) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(9) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(10) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。

**【目的】** コミュニケーションと情報デザイン  
メディアやコミュニケーション手段や情報デザインを題材とし、目的や状況に応じて受け手から受け手へ情報を伝える活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

**【学習活動】** コミュニケーションと情報デザイン  
(1) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(2) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(3) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(4) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(5) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(6) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(7) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(8) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(9) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(10) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。

**【目的】** コミュニケーションと情報デザイン  
メディアやコミュニケーション手段や情報デザインを題材とし、目的や状況に応じて受け手から受け手へ情報を伝える活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

**【学習活動】** コミュニケーションと情報デザイン  
(1) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(2) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(3) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(4) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(5) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(6) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(7) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(8) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(9) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。  
(10) コミュニケーションと情報デザインの関係について、その必要と必要性について理解する。

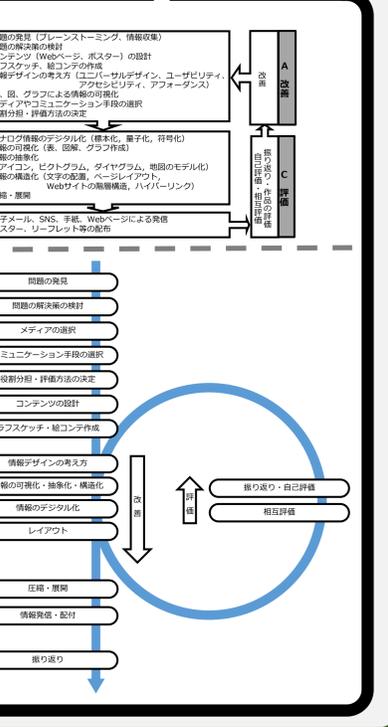
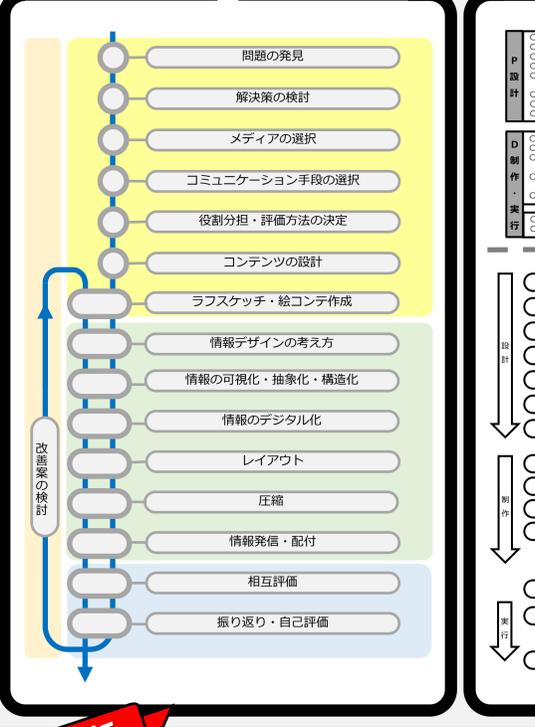
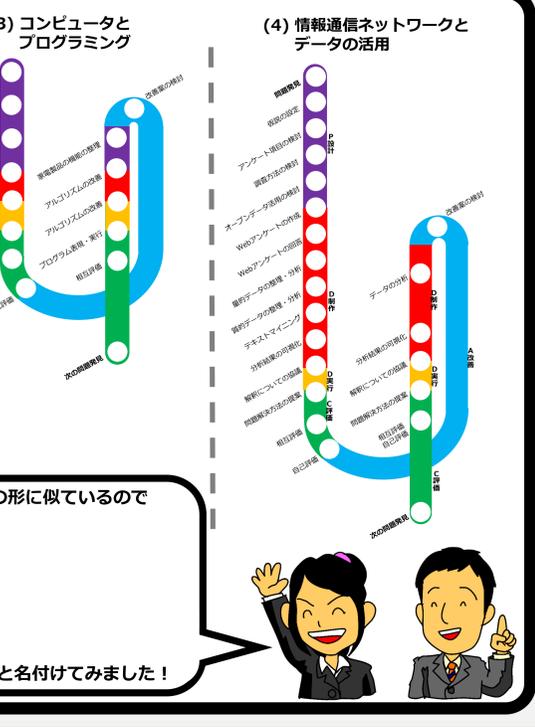
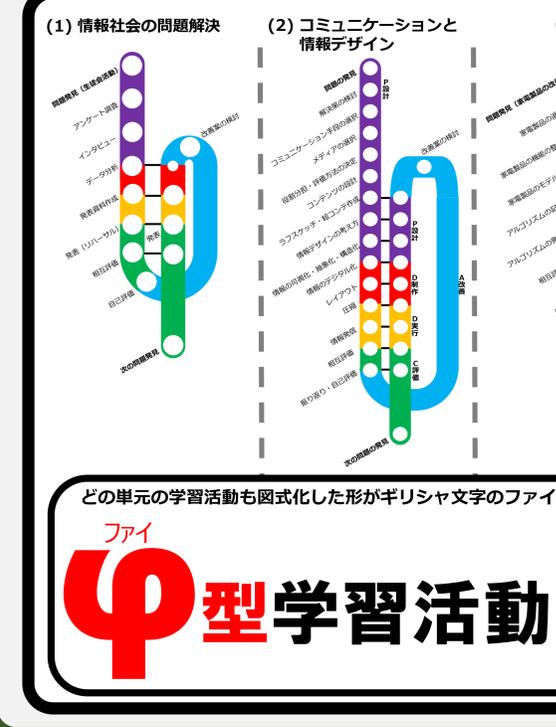
＜題材＞  
生徒会規約・料理レシピ  
著作物の利用手順  
コンテストの応募手順  
ホームページ作成手順  
情報コンテンツ作成手順

＜まとめ方の例＞  
プレゼン資料・Webページ  
ポスター・ちらし・リーフレット  
新聞・動画コンテンツ

段落・色分け  
学習活動の例を青字にして  
段落を明確にする

表組  
資質・能力で分類

文字の抽出  
図式化①②



## リーフレットがオススメ

- リーフレットの良いところ
- ストーリー性がある
- 情報量がちたしより多い
- レイアウトの自由度が高い
- 実用性・可搬性が高い
- リーフレットの活用場面
- 情報モラル啓発リーフレット
- 文化祭のクラス企画や部活動勧誘
- 班別自主行動のしおり 等
- ということで作ってみました！

## 全単元に指導機会

- スライド資料やグラフ、プログラムを作成する場面など、全単元で情報デザインの観点を加えて指導及び評価することが考えられます。
- スライド資料作成
- グラフ作成
- 情報デザインの活用
- プログラミン
- インタフェースの作成
- チャンス逃さず指導することをオススメします。

## ルーブリック評価がオススメ

- ルーブリックはペーパーテストで測りにくい思考力・判断力・表現力等の評価に特にオススメです。
- |  | S  | A                                       | B                                  | C                                 |
|--|--|---|------------------------------------|-----------------------------------|
| 【情報の抽象化、可視化、構造化】<br>目的や受け手の状況に応じて伝達する情報を抽象化、可視化、構造化している。 | A0の基準を満たしたうえで、情報の抽象化、可視化、構造化の工夫が随所にみられる。 | Bの基準を満たしたうえで、情報の抽象化、可視化、構造化の工夫が随所にみられる。 | 文章の内容を理解し、情報を抽象化、可視化、構造化して図解している。  | 文章の内容を抽象化、可視化、構造化できていない。          |
| 【ヘーシレイアウトの工夫】<br>目的や受け手の状況に応じて伝達する情報を分かりやすく配置している。       | A0の基準を満たしたうえで、すべての人が理解できるための工夫が随所にみられる。  | Bの基準を満たしたうえで、形や大きさ、色や配置に意味を持たせて配置している。  | リーフレットの特性を理解し、伝えたい情報を分かりやすく掲載している。 | リーフレットの特性を生かしてない又は伝えたい情報を掲載していない。 |
| 【ユニバーサルデザイン】<br>年齢、言語や文化及び障害の有無などに問わず情報を伝えることができる。       | この例ではS段階、A段階なし                           |   | バリアフリー、ユニバーサルデザインに対応している。          | バリアフリー、ユニバーサルデザインに対応していない。        |
- オススメのまとめ**
- φ型学習活動がオススメ
  - リーフレットがオススメ
  - 全単元で指導がオススメ
  - ルーブリック評価がオススメ
  - 実践事例もリーフレットで共有しませんか？
- 詳しくは「情報科.net」  
http://www.johoka.net/  
情報科.net 検索